

機種名: BS500/BS2500

- [タイトル](#)
- [問題点に関する詳細情報](#)
- [対策に関する情報](#)

Virtage BS500/BS2500 Red Hat Enterprise Linux(RHEL)のブートローダ(shim-x64.efi)を shim-x64-15-2.el7 以上に更新するとブート不可となる問題について

■問題点に関する詳細情報

<現象>

Virtageにてブートローダ(shim-x64.efi)をshim-x64-15-2.el7以上に更新しRHELをブートすると、下記メッセージが表示されブートに失敗します。

```
Failed to set MokListRT: Invalid Parameter
Could not create MokListRT: Invalid Parameter
Something has gone seriously wrong: import_mok_state() failed : Invalid Parameter
```

この問題はRedhat Knowledgebaseでも報告されています。 <https://access.redhat.com/solutions/4355971>
 但しRedhat Knowledgebaseでは問題が発生するのはshim-x64-15-1.el7以上と記載されておりますが、本問題はshim-x64-15-2.el7以上で発生することを確認しています。

<原因>

HVM FW 内の UEFI(Unified Extensible Firmware Interface)不具合です。

<現象発生時の回復方法>

RHEL をレスキューモードで起動し、ブートローダ(shim-x64.efi)を shim-x64-15-1.el7 以下に戻してください。

<対象機器>

装置	対象機器	形名
BS500	BS500 サーバブレード 520H(B3 モデル) 520H(B4 モデル) 520X(B1 モデル) 520X(B2 モデル)	GG◇GC0B3-□□□□□□□□ GG◇GC0B4-□□□□□□□□ GG◇GE0B1-□□□□□□□□ GG◇GE0B2-□□□□□□□□
BS2500	BS2500 標準サーバブレード (A1 モデル) (A2 モデル) BS2500 高性能サーバブレード (A1/E1 モデル) (A2/E2 モデル) (A3/E3 モデル)	GV◇HE0A1-□□□□□□□□ GV◇HE0A2-□□□□□□□□ G◇◇HE0◇1-□□□□□□□□ G◇◇HE0◇2-□□□□□□□□ G◇◇HE0◇3-□□□□□□□□

上記形名の◇には、サポート OS 種別コードが入ります
 □□□□□□□□には、装置の構成により異なった形名が入ります。

<対象バージョン>

装置	Virtage Ver.
BS500	— 02-40~02-67
BS2500	標準サーバブレード 02-40~02-67
	高性能サーバブレード 02-40~02-67

■対策に関する情報

<回避方法>

ブートローダ(shim-x64.efi)は shim-x64-15-1.el7 以下を使用してください。

<対策>

対策版のリリースは下表となっております。

	装置	Virtage Ver.	公開時期	公開場所
BS500	—	02-68	2020/1/31	Web(※1)
BS2500	標準サーバブレード	02-68	2020/1/31	Web(※1)
	高性能サーバブレード	02-68	2020/1/31	Web(※1)

※1 http://www.hitachi.co.jp/cgi-bin/products/it/server/bladesymphony/dlserch_rev1/dlserch.cgi